

合格体験記



名前: K.M

講座・コース: 社会保険労務士 上級演習本科

1.TACへの入会日

合格年度

平成25年?	平成29年
--------	-------

2. 1日の勉強時間と勉強方法

- ①平日約3時間、休日は午前9時～午後6時頃まで、ウイングウイング学習室で勉強
- ②まず本試験結果の反省、苦手項目の洗い出し
- ③大まかな勉強スケジュール作成、戦略練る いつまで、何を終了させるか
- ④戦略1 安衛3問中1問最低とる、労災・雇用各2問で徴収6問中4問とる
- ⑤戦略2 2月頃から横断整理、比較確認法択一式で縦・横知識横断チェック
- ⑥戦略3 3月頃 各科目トレーニング苦手論点中心に復讐
- ⑦戦略4 答練Webで復習用問題用紙印刷、再度時間図りながら解く
- ⑧ 上記答練復習何度も繰り返し、苦手論点再度テキストで確認整理
- ⑨戦略5 改正法問題集3回転目標に取り組む
- ⑩戦略6 模試で時間配分確認と間違った論点中心に復讐
- ⑪7月～8月 よく間違った論点中心に再度チェックと目的条文確認

3.得意な科目・苦手な科目又、その克服法

- ・苦手科目 安衛法
3問中1問できればOKとし、過去問で出題頻度高い項目に絞って勉強。特定機械等最後は捨てる
- ・苦手科目 労一選択式
普段から新聞(特に日経)の記事、経済・法律の記事を注意して読む習慣づけた
- ・得意科目
国年、厚年 共通事項・違う点をかき出し整理・整頓

4.学習期間中の辛かったこと

- ①平成28年度 労一選択で1点足りず、不合格になったこと
- ②各科目平均して点数が取れない、最初年金科目ズタズタ
- ③模試で期待したほどの結果が出なかったこと

4.受験時の心得

- ・何度失敗しても諦めない(H28年9月本科演習講座申し込み時、心に刻んだ言葉; 来年《29年度》は七転び八起にしてみせる)

5.TACを受講して良かった点

- ・勉強スケジュールがたて易い
- ・独学时全くダメだった、改正事項で得点できるようになった
- ・モチベーション維持
- ・勉強の習慣化

6.これから受講する方へのメッセージ

- ・目標を立てたからには、絶対にあきらめない

・「合格して自分の人生を変えてやる」くらいの強い意志を持つ
・試験終了後の自己採点調査数、模試の受験者数いずれもTACが一番多い
TACの教材を信じて勉強をすれば、いつか、必ず合格できるようになります。
一発合格は、超カッコいいですが、受かれば回数関係なく、あとはいかに資格
を活かすかだと思います。



合格体験記



名前: K.S

講座・コース: 社会保険労務士 総合本科生

1.TACへの入会日

合格年度

平成28年

平成29年

2. 1日の勉強時間と勉強方法

8月の試験に向けて12月頃から勉強開始しました。仕事をしながらでしたので、半日は1時間半～2時間程度、休日は3時間～4時間程度が目標でした。平日は勤務前1時間と帰宅後1時間を勉強時間とするよう習慣づけました。目標時間に届かない日もありましたが、全く勉強しない時間は1日も作らないよう努力しました。試験申し込みをした4月下旬からは、土日はほとんど自習室で10時～18時まで勉強し、試験直前には4日間の有給休暇を取得し追い込みをかけました。
勉強方法は、時間が限られていましたので、DVDの繰り返し視聴と過去問+法改正講座に絞って学習しました。受験2回目の合格でしたが、1回目は直前期に範囲を広げすぎ、基本部分が疎かになった反省から、この勉強法にして、それが効果的だったと感じています。

3. 得意な科目・苦手な科目又、その克服法

人事関係の仕事をしていたので、労働関係法規には馴染みがありました。一方年金関係は常態として接する機会が無いため力を入れて勉強しました。点数などで差がつくことはなく気持ちの問題だったように思えます。苦手としていた訳ではないのですが、点数がそんなに伸びなかったのは雇用保険でした。似通った用語が多く、それが原因だったと思います。

4. 学習期間中の辛かったこと

土日に勉強することについては、目標が明確だったのであまり辛くありませんでした。むしろ習慣化していきまされたので、仕事の都合で時間が取れなくなることが辛かったです。それよりも精神的プレッシャーが大きく、これは勉強を続けることでしか克服できないと思うようにしていました。

4.受験時の心得

これは皆さん言ってると思いますが、前日に当日の準備をするなど時間に余裕をもって行動できるようにすることですね。昼食なども何をどの位が適量なのか、模試を利用して試したりしました。また、試験が終わるまで集中したかったので、受験会場では極力人とは離れ一人で過ごすようにしました。また、問題の解く順番も重要ではないかと思えます。年金関係は頭が疲れる前に解きたかったので、択一は、健保⇒厚年⇒国年⇒労働法関係という順番で解きました。工夫が必要だと思えます。

5.TACを受講して良かった点

教材については盛りだくさんなので問題はありません。ただ、勉強時間が限られた方は、その中での選択が必要になるかもしれません。全国模試(2回)は必ず会場受験をお勧めします。自分の学習進捗を丁寧に分析してもらえますし、何より本番時の時間配分、昼食の取り方、トイレに行くタイミング等シミュレーションができます。付録の予想問題集(特に選択式)も復習に役に立ちます。それよりも一番は、自習室利用など良い学習環境が得られることです。自宅学習では、この結果は得られなかったと言っても過言ではありません。

6.これから受講する方へのメッセージ

社労士試験は範囲も広く、採点基準も特徴的なので情報が多く惑わされることも多いと思えます。しかし、基本問題をきっちり正解することで合格できます。そのために、自分に合った勉強範囲、方法を作りひたすらそれを繰り返すことに尽きます。そのために、TACを利用し、学習環境も利用してください。迷わず信じて継続することが合格に繋がります。この合格体験記が皆様の学習の一助となり、合格という結果に結びつくことを心よりお祈りしています。頑張ってください。

